

発行日 2017年12月18日  
改訂日 2022年1月20日

Version 04

Page 1 of 3

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: 組換えヒトアクチビンA溶液  
製品コード: SP-ActA-R-010UG, SP-ActA-R-050UG, SP-ActA-R-001MG, SP-ActA-G-001MG  
会社名: 味の素株式会社  
住所: 東京都中央区京橋一丁目15番地1号  
担当部署: アミノサイエンス統括部  
E-Mail: stemfit@asv.ajinomoto.com

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性: 情報なし  
特有の危険有害性: 情報なし  
GHS分類: 分類の基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

単一製品/混合物の区分: 混合物(水溶液)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号
アクチビンA	0.01	725748-11-8	-	-
酢酸ナトリウム	0.18	127-09-3	2-692	2-(4)-581
酢酸	0.18	64-19-7	2-688	-
水	99.6	7732-18-5	-	-

4. 応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動する。もし呼吸が困難となった場合は人口呼吸器が必要となる。直ちに医師の診察を受ける。  
皮膚に付着した場合: 石鹼で15分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。  
目に入った場合: 15分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。  
飲み込んだ場合: 口の中を良く洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。この他、医師への相談なしに無理に嘔吐をさせたり、与えてはならない。  
応急措置をする者の保護: 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤: 二酸化炭素、粉末消火剤、泡、水噴霧  
火災時の特有の危険有害性: 火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。  
特有の消火方法: 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。周辺火災の場合には移動可能な容器は速やかに安全な場所へ移す。  
消火を行う者の保護: 消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 個人用保護具を着用する。液体の飛散を防止する。液体の吸引を避ける。液体を漏出した場合には、液体の飛散に注意しながら、密閉容器に回収する。その後、漏出箇所は十分に洗浄する。

環境に対する注意事項: 液体がそのまま排水路に排出されないように注意する。

二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。着火した場合に備えて消火用機材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 取扱いは換気の良い場所で行う。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。皮膚、目および衣類との接触を避け、取扱い後は手や顔などを良く洗う。適切な保護具を着用する。

保管: 直射日光を避け、超低温庫(-80°C)に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度: 情報なし

呼吸器の保護具: 保護マスク

手の保護具: 保護手袋

目の保護具: 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣

9. 物理的及び化学的性質

当該化学物質の外観: 無色液体

臭い: 情報なし

pH: 4.6 (50 mM 酢酸ナトリウム緩衝液に溶解)

融点: 情報なし

沸点: 情報なし

引火点: 情報なし

蒸気圧: 情報なし

蒸気密度: 情報なし

比重: 情報なし

自然発火温度: 情報なし

分解温度: 情報なし

臭いの閾値: 情報なし

蒸発温度: 情報なし

燃焼性: 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性: 推奨保管条件下で安定

危険有害反応可能性: 通常の処理ではなし

避けるべき条件: 高温と直射日光

混触危険物質: 強酸化剤

危険有害な分解生成物: 一酸化炭素(CO), 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

11. 有害性情報

急性毒性: 情報なし  
皮膚腐食性・刺激性: 情報なし  
目に対する重篤な損傷・刺激性: 情報なし  
呼吸器感作性又は皮膚感作性: 情報なし  
生殖細胞変異原性: 情報なし  
発がん性: 情報なし  
生殖毒性: 情報なし  
特定標的臓器・全身毒性一単回暴露: 情報なし  
特定標的臓器・全身毒性一反復暴露: 情報なし  
吸引性呼吸器有害性: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性: 情報なし  
残留性・分解性: 情報なし  
生体蓄積性: 情報なし  
土壌中の移動性: 情報なし  
オゾン層への有害性: 情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法: 適切な保護具を着用し、地方条例や国内規制に従う

14. 輸送上の注意

本化学物質は国際規制による分類に含まれていない。輸送時には容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

本情報は我々の知り得た情報をもとに誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証を為すものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先下さい。